



あやめ



in 「一期一会」

文責：生徒指導主事 櫻本直弘

3年生、充実した“修学旅行”でした!

3年生は、4月22日(火)～24日(木)の2泊3日の行程で、広島・京都・奈良方面へ修学旅行に行ってきました。大きな怪我や事故もなく、無事予定通りの日程を終えることができたことが何よりの「成功」だと思います。

1日目は広島市内を見学しました。人類史上最初の原子爆弾による惨禍を経験した広島。核兵器廃絶と世界平和実現のため、ひたすら努力し続けてきた広島。そして多くの被爆者の志を受け継ぎ、後世に平和の尊さを伝えようとする広島。**人生の基礎をつくる若い時期に広島を訪れるという事は非常に意味深いものがあると思います。**今もなお世界各地で繰り広げられている「戦争」を目の当たりにする中で、私たちに一体何ができるのか?何を感じ、何をすべきなのか?そして**「身近な平和」とは何なのか?**この広島の地から感じる事ができたでしょうか。



1日目はあいにくの雨模様でしたが、平和記念公園や原爆資料館の見学を無事済ませ、広島市内の路面電車にも乗車し、京都駅前の旅館「佐野家」に宿泊しました。



2日目は、京都市内グループ別「自主見学」を行いました。2年生の頃から事前学習を始め、自ら興味関心を持った見学地を巡る「自主見学」…。地元のタクシードライバーによる詳しい「解説」も受けながら、すべてのグループが無事宿舎に戻ってきました。夕食後には旅館内の大広間で「京風小物への絵付け体験」も行いました。思い思いの絵を器に描き、**「唯一無二、世界にひとつだけの作品」**を作成しました。完成品が手元に届くのはもう少し先になりますが、どのような仕上がりになっているのか楽しみですね。



3日目はまず、清水寺の拝観と清水坂でのお土産購入を行いました。予想はしていたものの、とにかく見渡す限りのひと、ヒト、人…。外国人と修学旅行生で清水坂は完全に「占拠」されていました。その後、バスで奈良に移動し、東大寺大仏殿等を含む奈良公園内を見学しました。世界最大級の木造建築である「東大寺大仏殿」など京都に負けず劣らず見どころの多い奈良。おそろおそろ鹿の背中を撫でている人もいたり、鹿の〇〇をひたすら避けて歩く人もいたり、それぞれの楽しみ方で奈良を満喫したようでした。

この修学旅行の3日間を通して、新しいクラスの親睦が深まると同時に、学年の絆もより一層深まったことでしょう。しかし、今回皆さんが手にしたものは「親睦」「楽しさ」「友情の深まり」だけではないはずです。普段の学校とは違い、常に「世間一般の方々の目」を意識しながらの行動が求められる「修学旅行」…。そして「団体」の安全を第一に考え、常に時間を意識し、全体に合わせての行動が求められる「修学旅行」…。この「経験」こそが「貴重」なんです。

これから本格的に始まる学校生活（日常生活・授業・部活動）においても、修学旅行での経験を生かし、最上級生として一日一日を大切に過ごして欲しいと思います。

「経験」を「学び」に…。そして「学び」を「習慣」に…！



今後よろしくお願ひします ～家庭訪問&教育相談～

1年生は各家庭での「家庭訪問」、2年生は各教室での「教育相談」を4月22日（火）～25日（金）の4日間実施させていただきました。ご多用の中にもかかわらず、家庭訪問及び教育相談へのご協力をいただき、ありがとうございました。生徒たちの様子やご家庭での教育に対する考え方、また学校への要望などを伺うことができ、とても有意義な時間となりました。何より保護者の皆様と担任職員との出会いの場である今回の「機会」が、和やかな雰囲気で行われたことにたいへん感謝しています。保護者の皆様には、今後も引き続き檜形中学校の教育活動に対するご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

